

## 令和4年度 八重瀬町総合教育会議

日 時：令和5年3月27日（月）午後1時30分

場 所：八重瀬町役場 会議室

出席者：

### 【町長部局】

町長

新垣 安弘

総務部長

神谷 学

総務課長

上江洲 直樹

総務課 班長

安座名 誠

### 【教育委員会】

教育長

諸見里 勲

教育委員

上地 由希子

教育委員

金城 昇

教育委員

金城 久弥

教育委員

西原 美喜絵

### 【教育部局】

次長

新垣 正次

学校教育課長

宇地原 勇

生涯学習文化課長

上地 良則

スポーツ振興課長

屋富祖 修

指導主事

玉城 博康

学校教育課 主査

上原 瞳

## 議 題

- 1 令和5年度（2023年度）教育施策について

## 議 事 録

令和4年度総合教育会議（令和5年3月27日）

### ○総務課長（上江洲直樹）

皆さん、こんにちは。定刻の時間、少し早いんですが、皆さんお集まりのようですので、早速ですが、年度末の大変お忙しい時期にお集まりいただき、有難うございます。

これより令和4年度の八重瀬町総合教育会議を開催させていただきます。大変申し訳ございませんが、ご協力の方、よろしくお願いいたします。

進行役を務めます総務課長の上江洲と申します。よろしくお願いいたします。

では、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、開会の挨拶を町長よりよろしくお願いいたします。

### ○町長（新垣安弘）

皆さん、こんにちは。今日、年に一回の総合教育会議ということで、お忙しい中、ご出席をいただき本当に有難うございます。年に一回の会議なんですが、年度が終わる直前にアワティー、ハーティーで設定したような、そういう形になってしまいまして、本来ならばもう少しと前にやるべきかなと、今日も三役会議をやっている、教育長からのそういったご指摘等々もございましたので、次年度からはもう少し早めにこういった場を設けて、それがいろんな教育行政に反映できるようにしていければと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

そして、また私も町長に就任して、教育長もほぼ一緒にスタートをしております。そして今まで教育長は、役場の職員あがりの方が多かったんですけども、諸見里教育長は、教師として現場をやってこられて、そういう中で、また県庁での教育行政にも携わってこられて、そういう立場で一緒に八重瀬町の教育行政に関わってきて、スタートしてきまして、毎週一回、会議を開きながら、お互い町の教育に関わることにしまして、意思疎通をしっかりと持ちながらやってきております。

おかげさまで、総合的にいろんな面でいい方向に八重瀬町の子どもたちのこととか、学習にしてもいろいろな面で進んできているというふう実感を感じております。

今日は、こういう場で委員の皆さんと色々な形で意見交換をしながら、また、よりお互いが町の教育行政に責任ある立場で進めていくことを自覚していければというふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。以上です。有難うございます。

### ○総務課長（上江洲直樹）

それでは、続きまして、事務局担当の安座名より総合教育会議についてのご説明をいたします。

### ○事務局

皆さん、こんにちは。総務課の安座名と言います。よろしくお願い致します。私の方から次第の方で総合教育会議についての説明ということで示してあります。その教育会議についての説明をさせていただく前に、資料の確認の方をお願い致します。

資料1、令和5年度教育指針について、資料2の方が総合教育会議について、今日、追加資料といたしまして、本日の参加者一覧の資料3の方を配布しています。皆さん、お手元の方にございますでしょうか。有難うございます。

では、資料2の方をお願いします。皆さん、今回教育委員の皆さん4名いらっしゃいますが、去年も総合教育会議を開いていて、内容等については、ご存知かと思いますが、今回新たに西原委員が就任されていますので、簡単ではございますが、教育委員会議の趣旨等について説明させていただきます。

まず、総合教育会議というものは、趣旨としまして、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映して教育行政の推進を図ることを目的とすることとされております。

構成につきましては、地方公共団体の長、教育長及びすべての教育委員ということになっております。

内容としましては、地方公共団体の長と教育委員会と執行機関同士の協議と調整の場とするということになっております。

この協議と調整の具体的な内容としましては、大まかに3つございます。まず1つ目が教育行政の大綱の策定に関すること。2つ目、教育を行うための諸条件の整理、重点的に講ずるべき施策に関すること。3点目に、児童、生徒等の生命、身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずる恐れがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずるべき措置に関することとされております。

本日、この内容等について、この3つの協議事項と関連するかと思われまますので、それを皆さんの方で認識していただいて、調整の方をお願いしたいと思います。

また、下の方、会議の公開と公表ということで、今回、法律に基づくものの会議となっておりますので、この総合教育会議については、原則公開することとされております。

また、本日の会議の内容につきましては、議事録を作成して、これを公表することにされていますので、皆さん発言の際には、お手元にマイクの方がありますので、発言のときには挙手をしていただいて、係の者がマイクを回しますので、マイクで発言の方をお願いしたいと思います。以上、簡単ではございますが、私の方から総合教育会議の簡単な説明とさせていただきます。

#### ○総務課長（上江洲直樹）

それでは、議事を進めていただきますが、いま事務局の方からもご説明がありましたとおり、本日の会議につきましては、公開とされております。もし傍聴者がいらっしゃった場合は、あちらに座っていただき、傍聴していただくというふうに対応させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それと、会議終了後、速やかに会議録を作成し、町のホームページ等々で公開したいと思いますので、ご理解の方をお願いいたします。

それでは、本日の会議の議長は町長が務めるというふうにされておりますので、議事の進行を町長の方をお願いしたいと思います。では、よろしく願いいたします。

## ○議長（新垣安弘）

それでは、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ってまいります。議題1の令和5年度教育施策についてということで、説明は次長の方から説明をお願いいたします。

## ○教育次長（新垣正次）

それでは、資料の1の方、令和5年度教育施策ということで、町長の方からありましたので、私の方で読み上げて説明したいと思います。

まず、豊かな学びのあるまちということで2項ということであります。

まず、1番目に子ども子育て支援の推進につきましては、第2次八重瀬町子ども子育て支援事業計画の基本理念である、子どもたちの笑顔いっぱい太陽のまちづくり八重瀬の施策をさらに推進しながら、幼児期の子どもの教育や養育及び家庭の子育て支援に取り組んでまいすということで、私の方でこういう計画書が策定されています。

これにつきましては、今年改定する予定だということであるんですけども、こういうものを児童家庭課の方で、教育委員会とも取り組みながらこういうことをやっていくという計画書が作成されております。

その中に、これから述べることもほとんど記載されておりますので、もしよろしければ、後の方で見られて下さい。

2番目に待機児童解消につきましては、待機児童数の状況を踏まえ、受け皿の確保に努めてまいります。さらに、保育士の確保につきましても、関連事業の活用に加え、本町独自の就職奨励金の給付を継続し、保育士確保に努めてまいります。

3番目に、公立幼稚園につきましては、令和4年度より東風平幼稚園からこちんだこども園へ移行し、運営がスタートしております。

令和5年度は、白川幼稚園及び新城幼稚園が公私連携幼保連携型認定こども園へ移行し、具志頭幼稚園は、公立幼保連携型認定こども園として開園する予定となっており、多様化する教育、保育のニーズに対応してまいります。

次に、放課後児童クラブにつきましては、現在進めています子ども子育て支援事業計画の中間見直しにおいて計画に基づき、放課後の子どもの居場所を確保し、安心安全な環境の拡充に努めてまいります。

児童虐待につきましては、地域住民や子どもに関わる関連機関と連携を図りながら、未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。

子どもの貧困対策につきましては、経済的負担の軽減や困難を抱える子どもたちの居場所づくりに引き続き取り組んでまいります。

障害支援等につきましては、安心して過ごせる環境の実現と、関係機関、保護者との密なコミュニケーションを図りながら、引き続き取り組んでまいります。

児童生徒の学力向上に関する取り組みにつきましては、沖縄県学力向上推進5カ年プランプロジェクトⅡに基づき、引き続き学習支援や外国語指導助手の配置、八重瀬町中学校共通テストの実施、さらに不登校や登校しぶり等のケアについては、教育相談支援コーディネーターや教育相談員による支援を図り、学びの連続性を重視した保幼小連携を推進してまい

ります。

また、医療的ケアが必要な児童生徒に対する医療ケア看護職員の配置を行います。

I C Tを活用した学校教育の推進につきましては、教職員向けの研修や危機管理活用の支援体制の整備を継続するとともに、G I G Aスクール構想に基づき配布されたタブレット端末のI C T機器を効果的に活用し、学習機会の充実を図ってまいります。

教職員の負担軽減を図るため、校務支援システムの更新、部活動の地域移行に向け、令和5年度は土日等の休日は部活動指導員で活動できるように支援事業を行ってまいります。

児童生徒が安心して教育活動を行えるように就学援助費を支給し、義務教育の円滑な実施を図ってまいります。

学校給食センター整備につきましては、広域連携学校給食センター整備基本計画を策定し、長期的な変化、課題の見通しをもって効率的な学校給食センターの建設を目指してまいります。

生涯学習の推進につきましては、人生百年時代と言われる中、生涯に渡って学び続けることの有用性について周知を図りながら環境の整備に努めてまいります。

公民館活動においては、ニーズの高い講座、教室を開設するとともに、公民館サークル活動の活性化を図ってまいります。

人材活性面においては、国際交流事業、中学生、少年少女県外交流事業、小中高生姉妹都市交流事業、小学生を計画的に実施してまいります。

読書活動の推進にあたっては、令和4年4月に開館した八重瀬町図書館子ども学習センター及び具志頭歴史民俗資料館図書室の機能強化を図るとともに利用を促すための周知活動に努めてまいります。

未来を担う子どもたちの成長を支え、社会に開かれた教育課程を実現するには、地域と学校及び家庭が連携、協働する体制の構築を図る必要があります、それを目指した取り組みとして地域学校協働活動事業を推進するとともに、学校運営協議会、コミュニティースクール導入計画を促進してまいります。

文化事業につきましては、遺跡や伝統芸能など、町内の貴重な文化財の保存、保護、継承に努めることはもとより、具志頭歴史民俗資料館及び港川遺跡公園の利活用の促進を図るとともに、謝花昇資料など、近代史関連資料の収集整理に努めてまいります。

また、文化芸能芸術や伝統芸能の基礎になってくる島くとうばの継承や発展に向けた取り組みに努めてまいります。

町史においては、移民編の編纂を進めるとともに、令和4年度に完成した戦争編をはじめ、歴代の庁舎跡地の周知活動に努めてまいります。

生涯学習文化振興拠点施設の整備につきましては、プロジェクトチームにおいて、施設の機能や規模及び位置を含め、改めて計画の見直し作業を進めており、早期実現に向けて特定事項推進や一括交付金などの高率補助以外にも活用可能な財源の掘り起しや公民連携事業の活動など、財源を合わせて検討してまいります。

スポーツレクリエーションの振興につきましては、平成28年度に作成しました八重瀬町ス

ポーツマネジメント計画に基づき、体力や年齢、能力、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、誰でもがスポーツに親しめるよう、施設の充実や各種スポーツ大会、教室等を開催し、健康増進や生涯スポーツ社会の実現を図ってまいります。

また、児童生徒の県外スポーツ大会へ参加する際に必要な派遣費を継続して助成するとともに、プロスポーツチームのキャンプ誘致と合わせてトップアスリートによるスポーツ教室を開催するなど、児童生徒の健全育成、競技力向上を図ってまいります。

スポーツ施設の運営につきましては、デジタル化への対応を推進し、利用者の利便性向上を図ることを目的にキャッシュレス決済が可能な券売機の運用を開始いたします。

また、旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備実施設計をはじめ、東風平運動公園、野球場の機能強化として公式野球で安心して活用できるように防球ネットを高くする整備を行います。

今後ともスポーツやスポーツツーリズムの振興に努めてまいります。ということで、ここについては、こういう形で教育委員会で作成されております。説明としては、以上です。

#### ○議長（新垣安弘）

令和5年度の教育施策についての説明が終わりました。内容についてまた皆様の方から質疑等ございましたら、よろしくお願いをいたします。

また、これに関わらずに教育行政に関してお気づきの点等々ございましたら、取り上げていただいて結構ですので、よろしくお願いをいたします。

#### ○委員（金城）

いま教育施策について説明していただいたんですけど、順序よくいきます。1ページの方、学力向上に関しては、去年もコロナ禍にも関わらず、諸見里教育長を中心に本当に一生懸命学校現場では、コロナに負けずに頑張っていて、本当に大変だったと思うんですけど、それが私たちに伝わらなかったんですけど、本当に順調な教育活動をしたのではないかなということ素晴らしいなと思いました。

学力向上に関しては、本来、私たちは学校訪問で各学校長から教育方針について説明を受けて、学校現場の様子も見ながら、各学校にアドバイスできるものをしたり、ここは素晴らしいとか、褒められるのは、またちゃんと伝えてきたわけなんですけど、本当は大変だったと思うんですけど、コロナ禍の中でも学校訪問する機会があって、先生方が一生懸命頑張っている姿を見る機会を得られて、大変良かったなと思います。

ただ、学力向上の結果に関してはばらつきがあるので、学校訪問では、学力は一気に良くなったり、あるいはこの学年によって差がありますので、急に解決できない部分はあるわけなんですけど、その中で各学校の良さをぜひ共有化して進めていただければ、やりやすいのかなと思いました。

それから2ページのG I G A構想に基づいていま進めているんですが、私たちは、コロナ禍で集まることできなかったんですが、教育委員、そのときにオンライン会議で進めていったわけなんですけれども、この八重瀬町のICT機器を活用した教育環境が充実しているのではないかなということ伺いました。

そのことでオンライン会議は、県の教育委員会があるんですが、その中でも八重瀬町が随

分先行してうまくいっているんで、他の他市町村の方に比べて誇れるんじゃないかなと思いましたが、この推進のあり方は素晴らしいなと思いました。

あと下から2番目の八重瀬町図書館子ども学習センターができたということで、以前、いろんな方から八重瀬町は図書館がないから大変だ、大変だ、可哀想だなと言われたこともあったんですけども、やっとできて胸を張ることができてほっとしています。

説明がありました文科省から示された学校運営協議会の導入を促進するということがあるわけなんですけど、文科省の提言する地域とともにある学校づくりということで、各校長先生方にもアンケート取られているんですかね。概ね肯定的な意見が主だったんじゃないかなと思いますけど、ぜひ、地域も巻き込んで学校教育をすることが、また文科省が求めている、みんなで教育をするということにあっているんじゃないかなと思いますので、私としても積極的に協力していきたいと考えております。

最後に、3ページのスポーツレクリエーション振興につきまして述べてあるんですけども、八重瀬町のスポーツマネジメント計画が大変うまくいっていると、中学校の野球部の準優勝とか、あるいはサッカーの誘致とか、プロのスポーツ選手を呼んでの子どもたちの育成、八重瀬町の子どもたちは、本当に恵まれて素晴らしいなと思いました。

また、教育和合と言っているのが成人式が代表者の挨拶からも何かよく育っているなという印象もあるので、このスポーツ貢献とか、すべての面でうまくいっているような感じがしました。一応感想なんですけど、八重瀬町の教育行政、大変素晴らしいんじゃないかなというふうに感じております。以上です。

#### ○議長（新垣安弘）

いま金城昇委員から何項目かに渡って評価していただくようなご意見と感想等々がございました。これについて教育長、次長から何かご意見等々、いやいや実はこういうところはまだなんですよとか、そういうのもあればお伝えいただいて、意見交換できればなと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### ○教育長（諸見里 勲）

I C Tを担当している職員もいますので、また来年、研修を計画しているみたいですので。

#### ○指導主事（玉城博康）

指導主事の玉城です。I C Tの教育に関して、今年度を含めて、学校の中に研修を入れていきます。次年度に関しては、子どもたちの成績、テスト作成も含めて、全部データ化して教科担任の先生がこのデータに基づいて子どもたちに、個に応じた対応ができるような形で進めています。

このG I G Aスクール構想に関して、本庁の方でコンパクトな町ということで、非常に取り組みがやりやすいということと、あと先生方が非常に積極的に意識が高いので、それを活かしてやっていきたいと思えます。

目的としては、ただ、伸びた、伸び悩んだんではなくて、数値目標を立てて、今は全部クラウド上に子どもたちの成績管理データができるので、このクラウドの中で、どこが子どもたちが躓いているとか、そういった内容、これまでのあり方を抜本的に見直して、子どもた

ちの伸び率をどう上げられるか。あと厳しいところは、どのような手立てが必要なのかという、そういう分析も含めた研修会を次年度は強化して入れていきたいなと思っております。

#### ○教育長（諸見里 勲）

生涯学習課長は、地域コミュニティースクールの6年度、全校実施を目標にという。

#### ○生涯学習文化課長（上地良則）

学校地域運営協議会につきましては、かねてから業務をやっていたんですけれども、なかなか事務局体制が十分対応できてなくて、導入できてないという実情があるんですけど、大まかな先生方の意向としては、たぶん先生の方が逆に勉強されてきている面もあるので、概ね大きな課題としては人材だと思うんですけども、実際ここに関わってくれる人材がどのような方々になるかというのが大きな心配事で、課題だと思っているんですけど、いままでうちで取り組んでいる地域学校協働活動推進事業、いわゆるコーディネーター活動事業等々については学校の方とも、ボランティアの方々とも、この間、感謝の集いということで、意見交換もやったんですけど、いい雰囲気で行われていますので、そういったことの活動が理解も広がって行って、本格的に学校運営協議会、コミュニティースクールの体制ができるよう、難しくないというような教育委員会部局でも認識はしているんですけど、あとは学校サイドとの協働体制と、地域の方々はどの辺まで本当に学校に関わっていくものなのか、その辺が十分まだ整理できてない部分がありますので、その辺を早めに整理して、できれば、令和6年度から本格的に導入していきたいということで、教育委員会としては考えておりますので、いろいろとまた今後ともご支援、ご指導等をよろしくお願いいたします。

#### ○スポーツ振興課長（屋富祖 修）

スポーツ振興課より、スポーツレクリエーション振興につきまして、先程次長からありました八重瀬町マネジメント計画に基づいて行ってきました。このマネジメント計画は10年の計画でございます。令和8年まで、ちょうどいま折り返し地点です。

この計画について、実際5年目迎えます、できたことと、できなかったこと、こういった見直しも行いながら進めていきたいと思っております。

あとはプロ野球の誘致とか、サッカー誘致行っていますが、できるだけプロサッカーチームとか、プロの選手を間近で技術を見ること、あと指導を行うことで技術の向上、青少年の健全育成を図っていきたいと思っております。あと施設の利用については、いまデジタル化推進ということで書いていますけれども、各券売機、コロナの臨時交付金を活用しまして、全部キャッシュレス対応ということで行っております。

今後とも施設の機能強化、充実を図りながら、町施設の利便性の向上を進めながらやっていきたいと思っております。

また、教育委員からのご意見、ご提言等をお願いしたいと思っております。よろしくお願い致します。以上でございます。

#### ○学校教育課長（宇地原 勇）

学校教育課から2ページ目の上から4番目あたりですか、学校給食センター整備につきまして、令和5年度は基本計画を策定して整備に努めてまいるところであります。東風平、具志頭両給食センターの老朽化に伴って、令和4年度、新年度の令和5年度も備品を整備す



るとともに、やはり整備するためには運営としまして民営化等々、また東風平センターの増築も考えておりますので、整備まではこの状況を維持して、給食の提供に務めてまいります。以上です。

**○教育長（諸見里 勲）**

課長、部活動の外部指導員、令和5年度大きく変わりますよね、2ページの上から。

**○学校教育課長（宇地原 勇）**

教職員の負担軽減を図るということで、国も推奨している部活動の地域移行に向けて、町の方でも令和5年度は報償費として1,400万円ほど計上して、土日の部活動移行ということで、まず6月からではありますが、4月に計画して、その間、保護者、指導員等の説明会を行って、地域移行に向けて進めてまいりたいと考えております。以上です。

**○議長（新垣安弘）**

いま金城昇委員のご意見等に関して、担当の皆さんからのお話がありました。あと他の委員の皆さんからどうでしょうか。

**○委員（金城）**

3つほど確認させていただきたいと思います。1ページ目にあります学力向上推進5カ年計画があるということで、その5カ年計画の今は何年目なのか。そして八重瀬町中学校共通テストは、県の5カ年計画が終わった後も続いていて、学力向上に寄与する気概があるのかということを確認したいと思っております。

そして2ページ目にあります医療的ケア看護職員の配置ということなんですけれども、どの程度の生徒に対して医療的ケアをするのか。各学校に必要な場合、各学校に配置できるのかということもお聞かせいただけたらと思います。

2ページ真ん中頃にあります生涯学習の推進について、人生百年時代ということで、文章がありますけれども、これについては少し内容がフワフワとしてあまり把握できませんので、その内容の深いところを聞かせていただきたいと思います。

そして3ページにあります生涯学習文化拠点施設の設置ということなんですけれども、1年前にも聞いたと思いますけれども、これが進んだのか、戻ったのかということも合わせてお聞かせいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

**○議長（新垣安弘）**

今のご質問に対してよろしくお願いいいたします。

**○指導主事（玉城博康）**

学力向上推進5カ年プランプロジェクトⅡ、令和7年度が最終年次になります。令和3年度から始まっていま3年目、いまプランで言うと、最後の令和7年度のまとめに向けていま動いております。

このプロジェクトⅡというものは、重点目標がそれぞれありまして、3つの視点があります。

まず、1つ目が組織的な関わりということで、学校全体、管理職を中心としたチームとして学校を運営していく、それと子どもたちが実際に学んだことを体得できる。自己肯定感が

高まる。それと道徳教育も含め、心の教育、育ち、学びの実態、この3つの柱であります。

この3つの柱を積み重ねていくことによって、最終的な子どもたちの確かな学力、授業改善に結びつけるという県の施策を受けて、本町では県のものを受けて、八重瀬町独自のプランを立てていま取り組んでおります。よろしくお願いいたします。

今度は、八重瀬町共通テストに関して、今年度スタートしました。いままで学校のテストと言うと、ご存知のように中間テスト、期末テストがメインになっていて、教師が作成をする。授業の内容に合わせて範囲を決めて作成をして、子どもたちの学びをみとるというものが従来の姿でした。

ただ、本当にこれが子どもたちの学びがしっかりと定着しているかどうかというのも検証も含めて、業者の方に一括でテストをしてやっています。

対象としましては、中学校2年生の期末テストを対象に5教科やる予定です。

このテストのメリットは、まず子どもたちが八重瀬町内の中で、自分がどれぐらいの学力があるのかということと、専門業者を入れていきますので、このテストが返ってきたときのデータがあります。そのデータをもとって、子どもたちが次の年、高校入試に向けて、自分がどこが苦手なのか、どこどこに力を入れれば改善できるのかというのを子どもと教師、学校全体が共有して学びの育ちに繋げるという取り組みをいま計画しております。

#### ○学校教育課長（宇地原 勇）

2点目の医療的ケアが必要な児童に対する医療的看護の配置ということで、令和5年はお一人、東風平小学校に配置しております。今後は巡回ができるのか、他の学校にはいらっしやらないので、またケアの必要な児童・生徒が出てきましたら、必要に応じて配置をしていきたいと考えております。以上です。

#### ○生涯学習文化課長（上地良則）

生涯学習という言葉からして生涯に渡って学び続けるということ。健康長寿でいくためには、趣味もそうですし、仕事もそうかもしれませんけど、勉強していく必要があるということで、その中で個人レベルでの学習もあるはずですけど、人と関わりながら、生涯に渡って勉強することによって、百歳まで元気で生きていける契機になっていけばいいかなということをして人生百年時代という言葉を使って示しています。

私もプロジェクトチームの一員になっておりまして、書いているとおりになんですけど、いろいろと大きな課題があって、財政的な面でいったん一括交付金の活用枠、それは一括交付金の中の特別枠というのがあったんですけど、それに採択できず、次年度もこの事業でできる考えだったんですけど、国の方針も変わりました、この特別枠というのがなくなったということで、状況的に厳しい中、だけこの事業をやらないといけないということで、新たに財源的なものを含めて、使用も含めて、図書館が新しくできた面もありますし、そういった面から含めて、新たに実際いま必要とされている施設は何なのかということで、再度、そのあたり出しをしているところでありまして、それをもって令和6年度以降、その辺は町長が表明してくれると思うんですけど、その辺の結論の出した上で、公にしていくはずだと思いますので、状況的にはこのような状況でいま作業を進めていて、それをプロジェクトチームということで、私もその一員として参加しているところであります。

## ○議長（新垣安弘）

よろしいですか。あとどうでしょうか。

## ○委員（上地）

ICT、質問というか、意見としてなんですけれども、ICTの活用と教育、教員より子どもたちの方が早くすごく慣れていて、授業中に先生を見ながらタブを隠してゲームをしたり、そういうのもあったり、先生たちの方がまだまだ遅れているなどというのがあって、そこをもっとやっていかないといけないなというのと、あと横の繋がりでもっと、今回、国際交流事業とか全部中止になってしまったんですけれども、せっかく機材があったんだったら、これを使って海外の方と交流事業だったり、県外との交流事業もできたのかなという思いがあって、今後はこういうものを使いながら、どんどんそういう交流もできていけたらなというのと、あと今後、部活動の指導員、これも学習指導員とか、保育士もそうなんですけれども、予算があっても人が来ないというのが、やはりどこの市町村でもあると思うので、どうすれば人を確保できるのか、ただ予算だけじゃなく、それ以外の部分でもアプローチというのが今後必要になってくるのかなと思って、特に指導員というのがなかなか専門の指導だけでなく、何と言いますか、こういうハードルと言いますか、指導員として学校に入るその前のハードルを上げるために、この生涯学習の公民館事業の中とかで、こういう子どもたちに指導する、そういう教育内容をやっていって、そこから地域の部活動の指導員に繋げていくとか、そういう一連のアプローチもあっていいのかなというふうに、八重瀬町全体として、課ごとの支援でなく、横との繋がりをもっと強化していって、一連の流れとして八重瀬町全体として、こういう人を集めるということもやっていけたらいいのかなというふうに思います。

## ○議長（新垣安弘）

いま分は教育長の方からそういう要請ね、あとは他にどうですか。西原委員、よろしいですか。

教育行政に関して、いま話題にあがったこととかも、結構、議会で議員の皆さんからもいろいろとご質問があったり、追及があったり、いろいろとあるんですけれども、予算に絡むことでしたら、町長部局でまた予算の問題等々も出てきますし、そうですね、役場、こちら側が気がつかないところで、ご父兄とか、議員の皆さんとかでいろいろと給食の問題とか、そういう話が出てきて、それが議会で取り上げられたりとかもあるんですけれども、大きくは首長の私共の部局と教育委員会と本当に連携を密にしながら、しっかりと対応して、前向きにどんどん教育行政を進めていこうという姿勢でやっているつもりであります。

あと1点、生涯学習文化拠点施設のお話ありがとうございました。これも大変大きな課題でもありまして、一緒になっていまプロジェクトチームを作って、それぞれ担当課から出てきて議論を重ねております。

これに関しては、いろんな皆さんの強い思い入れもあって、いろんなご意見があるんですね。、芸能をやっている方でホールの中、内容に拘る方もいらっしゃるれば、駐車場の問題を特に重要視する方もいらっしゃると思いますし、あるいは利便性の場所の問題等を念頭に置いてお

られる方もいらっしゃるし、もう一つは謝花昇資料館との複合のこともありまして、資料館も造っていかないといけない。

そういう絡みもあって、なかなか一つにまとめづらい、絞りづらいので、大変苦勞しているんですけども、どっちにしろやらないといけないものですので、できれば補助率の高い補助事業をしっかりとはめていければ、それに越したことはないんですが、今回、もしそれがちょっと厳しくても、それなりに財政的な面での目途は多少みえてきているのかなという状況にはなっていると思います。

あとは中身の問題、細かくはホールの大きさとか、収容人数をどうするのかとか、そこら辺をしっかりと意見交換しながら方向性を定めていかないといけない、そういう作業の段階に入っているのかなというふうに感じております。

そういうことで、いろんな課題等ありますけれども、また、しっかり町長部局、教育委員会、連携を取りながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

あと教育長の方からの総評ということでよろしいですか。議題1は、以上で終わりたいと思います。よろしく願いいたします。

#### ○教育長（諸見里 勲）

総評という大きな形ではないんですが、いくつか委員の方からご質問あった内容について、私なりに回答的なものを答えたいと思います。

ICT活用については、私も20～30代の頃からずっと30年近く、いわゆる小中学校のパソコンの導入の時代、1995年から2000年、インターネットが入ってきた時代、それから元々スマホ、携帯ではなく、メールぐらいしかやっとならったんですけど、それが画像が送れるようになったりしたのが、そんなに昔ではないですよ。

ただし、小学生ぐらいが生まれた頃には、もうそれができていたと、スマホ時代ですね。

ですから、私たちがいたときは、とてもメールも無理だという時代ですので、相当ICTの技術の進歩は相当進歩してきました。

私も2000年代にパソコン通信というのがあって、紙きれ一枚です。これだけのデータをパソコン通信で送るのに30分ぐらいかかったんです。30分の電話代を計算したら、もう恐ろしくなって、途中から止めようかなと。でも、止めたらこの30分の電話代が無駄になりますよね、それで止めなかったことがあって、私が1995年に行った大学は、すべてパソコン通信でやってくれと、レポートが10ページぐらいあって、6時間回ったことがありました。電話回線で6時間、もう電話料がとても心配になりまして、こういう時代もあったなと、フロッピーディスク一枚を1メガぐらいですか。いま1メガぐらいがフロッピーディスク1枚なんですけど、大体写真一枚も入らないんですよ。それをいまは1ギガとか、いまテレビの録画4テラとか、5テラとか言ってますよね。とんでもない時代ですけど、その時代からやっています、教員研修を年間3,000名単位でやったこともありますが、いまの教員はパソコンは使用できます。使用できるレベルというのは、インターネットが使えること。wordとか、excelが使える。これが使用できるレベルです。ほぼ100%使用できます。そういう条件で教員研修もして採用もしていますから。

ただ、使用できるからすぐ教えきれるかと言ったら、これがまた全然違うんですよ、全然違うということ、私は使えるから教えきれるといって、また相当レベル高くないと、パソコンそのものの教えきれるといっては全然レベル違う。

さらに各教科、国語、数学、理科、社会ありますよね。その内容をすべて熟知して、これをパソコンで指導できるか。このパソコンのこのソフトだったら、理科のこの実験は有効だよと、いわゆる教材研究をして、判断するレベルとなると、もっと少なくなるんですよ。いまは学校で一人1台配られて、はい、全部指導してねって言って、いきなりハードルがばーんって上がったんです。

それで、あまり学校混乱しないように、2～3年かけてゆっくりやっていこうというの、私、校長、教頭会で常に言っていました。いきなりやろうとすると、不登校対策、それから学校でのいじめの問題、それを抜きにして、全部パソコン、パソコンになってしまうと、子どもたちの現状が見えなくなるということが一番私が心配したところでした。

それを徐々に徐々にやっていこうということで、来年からは指導主事が中心になって、もうそろそろ教員研修を入れていこうということで、学校でも最初から数名は一生懸命、学校のリーダーとしてやっていました。

それに輪をかけて、教育委員会でもっとやれ、もっとやれすると、学校はだいぶ混乱起きますので、ここは慎重にやってきました。もうそろそろいいんじゃないかということで、先程あったように、これはどの職場でもありますよね。パソコンがとっても得意な人、興味持っている人と、意外とそうじゃない人、どの職場にもいます。

ですから、それを一律にやりながらではありますけれども、得意な人が苦手な教員を少し引っ張っていこうということは既に3年前から中学校等ではやっている状況であるということ、少なくとも徐々に徐々にではありますけれども、これは全国的、全く同じです。八重瀬町だけができない教員がいるわけではなくて、日本全国みんな一緒です。

それから部活動の指導員はいるか。これは全国的な問題です。指導員確保が問題、だけれども、指導員の中にもそれなりの力量をもった指導員というのは、もっと絞られてきますよね、保護者とか、学校が安心して任せられる。

ただ、八重瀬町には外部指導員ということで役場職員とか、体協の専門部とか、もう既に20年、30年近くの外部指導員という制度があって、すべての部活ではないんですけど、かなり定着していますので、他の市町村では必ず外部指導員がいないところがほとんどなんです。保護者がやって、保護者がそのまま卒業したら、何も面倒みないというようなことがありますので、八重瀬は他のところよりはまだいいのかなと。

ただし、すべての部活がすぐ来年から移行できるかと言ったら、それはなかなか難しいです。文科省とか、県のいろんな会議とかの様子を見てみると、まず令和5年から8年の3カ年で、土日はまず外部に任せまじょうと、教師の負担軽減も含めて、これは目標です。

それを真っ先に手を挙げて予算化したのが八重瀬町です。他のところは、どうしよう、どうしようと考えているうちに、あと2～3年経っていきます。

ですから、八重瀬町はどの市町村よりも先駆けて土日の移行の準備が整ってきた。それも

外部指導員というのが青少協で委嘱していましたが、令和5年度は教育委員会で委嘱しようと、保険もちやんと制度も整えようということですが、この辺は大丈夫だと思います。

個人的には、少なくとも5年から10年は、どうしても一部の部活、例えば卓球部であるとか、どうしても地域で面倒みきれない部活は必ず存在します。そういったものは、学校でいくつかの部はどうしても残るなというのは、全国的な教育長会での議論の中での課題となって、いくつかは残るよねって、どうしてもと。

ですから、あと2年後に全部外部にもっていくとか、そういう話ではありませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから先程、施策の中で漠然としているなという指摘が確かにそうだなと私も思いました。これ漠然とした理由は、生涯学習の推進につきましてはと、公民館活動は分けたものだから、そうってしまった。これ二つをセットの文書だったんだろうなと思います。

あと1枚目、実は私が教育長になって最初にこれはぜひやりたいなと思っていたのが、共通テストなんですよ。これ日本全国、那覇市でも私、教育委員会にいるときに提案して、学力向上、いろんなテストをたくさんやるよりも、定期テストをせっかくやっているの、同じ問題をやったら、一番効果が上がるよって。

例えば、具志頭中学校は令和4年度の生徒数は254名しかいないんです。東風平中は去年の段階で742人いるんです。同じ規模の学校、平均と比較できないですよ。大きい学校も小さい学校も同じ問題でやって、データは八重瀬町としてまとめたいなと。

去年、教育長会でもこういうことをやりませんかと提案してきたんですけど、これがひいては島尻地区で同じ教科書を使っているんです。教科書採択地区と言って、同じ教科書を島尻地区で使っていますから、授業の進め方も同じでいいんですよ。同じ問題ができるんです。同じ問題でやって、島尻地区で期末テスト一斉にやったらすごいなと。

ただ、いままでできなかったのは、業者テストをやると、データが戻ってくるのに1カ月から2カ月かかるんです。しかし、実力テストでは、いままで沖縄県でも業者テストを入れてやっていたんですね、2カ月経ったら子どもたちも変わっていますからね、私が一番問題だなと思ったのは、3年生の10月ぐらいの頃に実力テストをやって、これで高校の希望するとか、高校の判定をやっても、10月と翌年受けて、2月、3月ってものすごい実力変わっているんですよ。

そういうことで進路指導になかなか活かしにくいよねと、半年前のデータで、あなたはこの学校がいいんじゃないの、この学校無理だよねというのはいかがなものかと、そういう意味で、データを各学校単位ではなくて、八重瀬町単位で分析したいなという意図があって、去年はデータを取るために数学とかやりました。先生方に聞いたら、とても好評でした。もっと教科を広げられないかと、とても良かったという分析データ、生徒にとってのメリットを見てみますと、さっきも言ったように席次など、学校単位の、クラス単位の狭い範囲ではなくて、八重瀬町単位で自分の実力がわかる。さらに分析データも非常に詳しいデータがどの問題がどれぐらいできているとか、コンピューターで処理しますから、いままでのテストは、平均点と最高点ぐらいしか教えないんですね、やると、そういったことができるよと。

教師のメリットとして、定期テストの問題を作るって、結構大変なんですよ。毎年同じ問

題というわけにはいかないものですから、だからどの問題にしようかねって1週間ぐらい悩みながら作って、さらに採点して返すまでに1週間かかるんです。この問題作る1週間、採点する1週間の業務がなくなるわけですから、その分、子どもたちの勉強の面倒を見て、去年の東風平中のテスト前何をしているかと言うと、テスト対策を先生方やっているんです。期末テスト対策の補習しますよということが出来るんです。もし、これがなければ、テスト作る事務作業をしているはずなんですよ。

だから、そういったふうなことになるばいいなということで設定しました。これも指導主事がいろんな業者と交渉して、やはり難しいという県内業者たくさんありました。でも、ある業者がちゃんとできますよという業者があって、最短三日で解答して返しますと、1週間では間違いなく返しますということがあったものですから、しかも料金が去年やった10分の1ぐらいの料金でできますよということがあって、だったら5教科やろうということでやっています。

さらにもう一つは、去年は単費でやったんですけど、これ一括交付金で挑戦してみようということで、8割補助の高率補助で、これだけの効果がある取り組みができるということがわかれば、八重瀬町の事例がおそらくすぐ県内に広がるだろうと。

去年、声かけてできなかったのは、いきなりすぐ単費でこれだけ出すというのは厳しいねという話でありましたので、これも期待していいんじゃないかと。

教員の皆さんも問題作らなくていい。あるいは採点しなくていいというのは、ものすごく負担軽減に繋がるよという話です。

それから最後に、3ページのいろんなたくさんものをあげております。このあげる中で、私も漠然とした書き方はあまり好まないものですから、各課の課長には、令和5年度のやることわかるような文章を書いてくれと、何々を充実するとか、努力する、よくわからないですよ。

だから、読み手が町民がイメージできるような、例えば、そのイメージでわかりやすいのが甲子園野球で安心できるように防球ネットを高くしますよと書いた方がいいですよ。野球場を整備しますと言っても、どのように整備するかわからないので、そういうふうにやっていますよということ。

それから、いま単なるスポーツ振興ではなくて、学校教育、子どもたちの教育にも相当関わるなと思うのは、旧具志頭小学校体育館のリニューアルです。これは学校施設ではなく、一般の施設になっているんですけど、具志頭小学校の敷地にありますよね。運動場が狭いから壊してほしいという意見もあったりするんですけど、そこであまりうるさくしないような使い方してほしいと。だったら、学校でも使える、運動会でも使える、造り方を工夫したいなど、学校がいいのを造ってくれたと、キャンプの期間使って、それ以外は鍵閉まっているようなものは絶対ダメだよって。いろんな地域の南の駅のイベントにも使おうと、学校の運動場を運動会としても活用できるような、すべてのものが使えるようなものにしたいたいということで、いまスポーツ振興課の方でどういう設計にしたらいいかということを検討しているところです。

そこは私個人的にも譲らないでおこうかなと思っています。学校とは関係ない施設が学校の側にドカーンっとできましたっていうのは、一番良くないかなと思っていますので、そこはしっかり見ていきたいと思っています。

それから町史も、実は結構いま一括交付金も活用していますけど、相当膨大な費用もかけていますので、私としては担当課には計画どおりいきますよと、計画を遅らすことは絶対ダメですよと、しっかりと計画どおりやっていきましょうと、いわゆる調べれば調べるほど、もっと調べたいというのが私も学校、那覇市教育資料編纂室にいましたので、ややそういうふうになりがちなんですよね、もうちょっと調べたい。

そこは時間とともにしっかり計画どおりやってほしいということで、いま生涯学習頑張っていますので、それもできると思います。

その他諸々、教育委員の皆さんとは教育委員会終わった後に、毎回、情報交換会をやって、この中にも既にお話聞いているものと、ああこういうものもあるんだというのもあったと思いますけど、できましたら毎年4月には町長の教育施策ということで、4月の教育委員会には、これセットで出した方がいいのかなって、いま話を聞いていて感じました。以上でよろしくお願ひしたいと思います。

#### ○議長（新垣安弘）

総評に入る前に進行にマイクをお返しするべきだったかなと思っていますが、進行の方、よろしくお願ひいたします。

#### ○総務課長（上江洲直樹）

では、いま教育長からの総評終わりました。以上、本日の議事、議題1の方も終了といたします。

昨年もこの時期の開催となっております、本年度も3月の本当に忙しい最後の時期の開催となっております。大変申し訳なく思っております。

事務局の方として、令和5年度は、この施政方針というのが12月ぐらいにいろいろ取りまとめしておりますので、その前に開催ができればなと考えておりますので、それで進めさせていただきますと考えております。よろしくお願ひいたします。

それでは、2時半となっております。1時半からちょうど1時間余りの会議となりました。皆さん、大変お疲れさまでした。

これもちまして、令和4年度の八重瀬町総合教育会議を終了いたします。お疲れさまでした。